

平成26年度事務事業評価シート		該当事業(評価対象外事業は基本情報のみ記載)		
		一般事務	公共建設事業	評価対象外事業
事務事業名	秦皇山施設管理運営事業			
予算科目	7 款 1 項 5 目			
総合計画での位置付け	産業の振興～もりもり元気なしごとづくり～ 観光の振興			
所管課情報	担当課: 経済雇用戦略課			電話番号(内線): 572
記入者情報	所属長: 靄岡 正直		担当責任者: 平井 隆雄	
事業の性格	法定事務			
実施期間	【開始年度】平成 17 年度 【開始年度】設定なし			
事業の対象	一般利用者(余暇・観光・自然志向者)			
根拠法令等				
事業の目的	秦皇山森林公園の持つ豊かな自然、美しい360° パノラマ風景を活かし、滞在型レクリエーション施設整備、管理運営により都市住民と地域住民との交流に寄与する			
事業の内容	休養センター・ログハウス・キャンプサイト及びレクリエーション施設並びに森林公園の管理運営			
改善策の 具体的 取り組み (当初)	市内観光施設と連携してPR活動に努め、利用者の増加につなげる。			
改善策の 具体的 取り組み				

事業費及び財源内訳					
項目		25年度決算	26年度予算	9月末の執行状況	26年度決算
事業費	直接事業費	4,262	4,666	2,143	4,286
	人件費	976	79	39	79
	合計	0	4,745	2,182	4,365
人件費 内訳	人工数	0.12	0.01	0.01	0.01
	人件費単価	8,135	7,954	7,954	7,954
	補助事業人件費	0	0	0	0
	人件費	976	79	39	79
財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0
	一般財源	5,238	4,745	2,182	4,365

事業活動の実績(活動指標)					
項目	単位	25年度実績	26年度予定	9月末の実績	26年度実績
管理委託	千円	2510	2577	1200	2577
施設維持修繕・管理費等	千円	38	300	16	16
ログハウス等利用者	人	1876	1800	1996	2149

向こう5年間の直接事業費の推移						
年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	5年間の実績
	4,571	5,000	5,000	5,000	5,000	24,571

成果指標				
成果指標	施設使用料金を納付した施設の利用者数管理費等執行状況			
指標設定の考え方	施設の利用者は、施設使用料金を納付した施設の利用者と秦皇山への入り込み客とに区分されるが、行政評価では、施設使用料金を納付した施設の利用者数を設定			
区分年度	25年度	26年度	27年度	
目標	1700	1800	2000	0
実績	1876	2149	0	0

自己評価				
自己評価 (担当責任者)	妥当性	目的の妥当性	3	C
		市民ニーズへの対応	3	
		市の関与の妥当性	3	
	有効性	事業の効果	3	C
		成果向上の可能性	3	
		施策への貢献度	3	
	効率性	手段の最適性	3	C
		コスト効率	3	
		受益者負担の適正	3	
課題認識	市ホームページや観光パンフレット等でのPRにより、利用者の増加につながった。今後も利用者の増加を目指すためには、老朽化した施設・設備を改修していく必要がある。			

一次評価				
一次評価 (所属長)	妥当性	目的の妥当性	4	C
		市民ニーズへの対応	3	
		市の関与の妥当性	3	
	有効性	事業の効果	3	C
		成果向上の可能性	3	
		施策への貢献度	3	
	効率性	手段の最適性	3	C
		コスト効率	3	
		受益者負担の適正	3	
課題認識	利用者が増加しており、自然と触れ合う体験施設としての効果も大きいと思われる。今後も利用者増を目指して運営及び施設管理をしていく必要がある。			

二次評価	
二次評価 (所属部長)	一次評価結果のとおり事業継続と判断するが、以下の課題を新たに追加する。
意見、課題	経年劣化による施設の老朽化対策として、改修・修繕等の計画を立て、適切な維持管理に務めること。

行政評価委員会の答申

外部評価  
(行政評価委員会)

経営者会議の最終判断

事業の方向性

下記の点を見直しの上、継続する。

意見、課題

二次評価の内容を踏まえ見直すこと。